

映画「来る」に登場する秀樹の故郷は三重県各地で撮影が行われました。



三重県 道

帰郷した秀樹と香奈がタクシーに乗るとある駅前の風景は津市にある近鉄大阪線榊原温泉駅口の風景。名湯が多く、近くの猪の倉温泉周辺では秀樹と香奈がハイキングするスナップも撮影されています。ロケ地めぐりの初めに訪れてみてはいかがでしょうか。

ロケ地情報 中伊勢温泉郷・猪の倉温泉

📍 榊原温泉駅周辺 猪の倉温泉
📍 猪の倉温泉(津市白山町佐田2643) 059-262-4126

寺

秀樹の祖父の13回忌法要の様子が撮影されたのは地元で古くから信仰を集める「円光寺」。創建1656年(明暦2年)、本堂は天保時代のもです。劇中ではさわやかな初夏の設定ですが、撮影は2月。前日には雪が降る、とても寒い中での撮影となりました。エキストラの皆さんもストーブに当たりながら撮影に挑みました。また、住職役は円光寺の前住職が出演。



円光寺門前



円光寺



本堂



近鉄タクシーが到着するシーン



読経をする前住職



エキストラの皆さん

ロケ地情報 浄土真宗本願寺派 円光寺

📍 四日市市千代田町945
※庭・見学自由。本堂の見学はお声掛けください。
☎ 059-365-8767

秀樹の実家

秀樹の実家として登場する旧平田家住宅は国の登録有形文化財に指定されている明治・大正の建物。現在は現代陶芸を中心に個展が開かれるギャラリーとして利用されています。

代々庄屋の家として活躍してきた平田家の土間の壁には、伊勢暴動の際につけられたという傷が現在も残っています。三重県の地域の歴史を見守ってきた建物です。

ロケ地情報 旧平田家住宅(目黒陶芸館 別館)

📍 四日市市千代田町941
※ギャラリー開催期間中は見学可。(開館のスケジュールはHPでご確認ください。)
☎ 059-365-0332
🌐 <http://meguro-gallery.com/>

書院

ふだんは陶器が展示されている「書院」では13回忌で集まる親族のシーンが撮影されました。



陶芸館として展示をしている様子



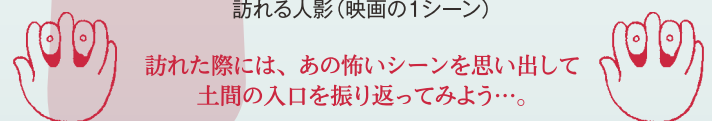
親族の宴会のシーンが撮影されました



土間



訪れる人影(映画の1シーン)



訪れた際には、あの怖いシーンを思い出して土間の入口を振り返ってみよう…。

居間

秀樹が帰郷した「現代」と「こども時代」が撮影されました。2つの時代の撮影では、少しずつ家具などが違うんですよ。

<子ども時代>



秀樹のランドセル



川



川(映画の1シーン)



三反帆

豊かな水をたたえる熊野川の流域は、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されています。撮影が行われた付近、実は観光名所。川風の力をうけて走る三反帆(さんだんぼ)と呼ばれる舟で遊覧ができます。

ロケ地情報 熊野川

📍 紀宝町
📍 東紀州プレス&フィルムコミッション 0597-23-3784
🌐 www.kumanokodo-iseiji.jp/

小学校



小学校の前(映画の1シーン)



亀山市立加太小学校

ロケ地情報 亀山市立加太小学校

📍 亀山市加太板屋4569
※見学の際は必ず事前にご連絡ください。
📍 亀山市フィルムコミッション 0595-97-8877
🌐 <http://kameyama-kanko.com/kafo/>

切り倒される巨木

森の中で巨木が倒されるシーンは津市美杉町で撮影されました。古くから林業の盛んな美杉町では、映画「WOOD JOB! ~神去なあな日常~」が撮影されるなど「森」ロケには定評があります。これだけの巨木が見つかったのもうなずけます。

ロケ地情報 津市美杉

📍 津市美杉町周辺
※実際に撮影が行われた山には入れませんが、森林セラピーコース等、森の散策するのがおすすめ。
📍 津フィルムコミッション「ロケっ津」(津市役所観光振興課内) 059-229-3170



森林セラピー

注意

ロケ地＝観光地ではありません。近隣の方の迷惑にならないようマナーを守って訪れてください。

撮影のご協力

エキストラだけではない！撮影には色んな協力があってますよ(映像に映っていないものも含まれます)

仏壇(水谷仏具店)



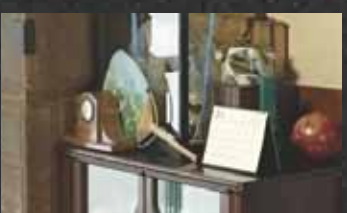
お供えの枕生花(花福)



庭木の保護(三宅造園)



日永うちわ(稲藤)



宴会の仕出し料理(福祿寿)



民芸品(富田鯨船保存会連合会)



手土産(太白永餅 金城軒)



控室(千代田町自治会)



萬古焼の急須(酔月陶苑)



朝食(おにぎりの桃太郎)



豚蚊やり器(はんこの里会館)

